

【学校だより】



はまなつめ 第7号

令和7年7月9日(水)

長崎市立川原小学校

校長 神田 学

『一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 ～ 子どもも教師も輝く学校 ～』

右の写真は、本日の児童玄関のようすです。この、夏真っ盛りの時期に、秋桜が咲いています。実はこのコスモスは昨年もこの時期に咲いていました。この真夏に咲く秋桜を川原小学校では「ど根性コスモス」と呼んでいます。

また、令和4年度から植樹を始めた希少植物「ハマボウ」の花が今年も咲きました。



令和4年度



令和7年度



うれしいことに令和5年度の卒業生が卒業記念に植樹した「ハマボウ」も、今年はじめて花を咲かせました。↓



令和5年度卒業生



令和7年度

教育週間に、昨年度は令和4年度に植樹した「ハマボウ」が初めて花を咲かせました。今年度は令和5年度に植樹した「ハマボウ」が初めて花を咲かせました。まるで、「命」について考えた教育週間に合わせて花を咲かせてくれているようです。右写真のように、今年の「ど根性ひまわり」もぐんぐん大きくなっています。もうすぐ子どもたちより背が高くなりそうです。花を咲かせてくれる日を楽しみにしているところです。



創立150周年 を迎えて

6月29日(日)は創立150周年記念式典へのご出席ありがとうございました。おかげさまで、無事に終えることができました。



創立150周年を記念したよき日を迎えられましたのは、これまで150年にわたり、本校の教育活動にご尽力くださった歴代の校長先生方、諸先生方、そして子どもたちを温かく見守り、支え続けてくださった地域の皆様、保護者の皆様のおかげであり、深く感謝申し上げます。

本校は、明治8年に柳溪寺を仮教場として発足しました。創立当初から、学ぶことへの強い熱意を胸に、未来への希望を抱く子どもたちの姿があったことでしょう。以来、校舎は改築され、教育内容は時代とともに変化してきましたが、子どもたちの健やかな成長を願い、地域に根ざした教育を推進するという本校の精神は、150年間変わることなく受け継がれてきました。

この150年の間に、本校を巣立っていった卒業生は、社会の様々な分野で活躍し、それぞれの立場で地域社会、そして日本の発展に貢献してこられました。卒業生の皆様が、本校で培った学びと経験を礎に、社会でご活躍されていることを、私たちは大変誇りに思います。

現在、本校には48名の子どもたちが通っています。子どもたちは、日々の学習や様々な行事等を通して、知識を深めるだけでなく、豊かな心、健やかな体、そして困難に立ち向かう力を育んでいます。目を輝かせながら学ぶ姿、友と協力し、時には競い合いながら成長していく姿を見るたびに、本校の歴史と伝統が、確かに今この瞬間に息づいていることを実感しております。

今の時代を象徴する教育は様々にありますが、小学校における英語教育もその一つであると思っております。地域の皆様の中には、小学生の頃は英語を習っていなかったという方も多くいらっしゃると思います。だからこそ、創立150周年記念式典において「英語劇」を観ていただきたいと思いました。社会は目まぐるしく変化し、教育を取り巻く環境もまた、常に変化し続けています。このような時代だからこそ、私たちは、これまで培ってきた歴史と伝統を大切にしつつ、常に新たな教育のあり方を追求していく必要があります。子どもたちが、未来を切り拓く力を身につけ、グローバルな社会で活躍できる人材となるよう、教職員一同、これからも力を合わせ、より一層の教育活動の充実に努めてまいります。

結びに、川原小学校がさらに発展し、地域と共に歩み続けることを祈念いたします。

令和7年 6月29日
長崎市立川原小学校
校長 神田 学

